

2025 年 6 月 8 日 (日)

日本キリスト教団 久宝教会

第 68 巻第 8 号 (通算 3445 号)

教会設立 1959 年 6 月 14 日

〒581-0072

大阪府八尾市久宝寺 6 丁目 7-10

TEL 072-992-2131 FAX 072-992-2135

郵便振替: 00980-5-212130 「日本基督教団久宝教会」

【集会案内】こどもの礼拝: 毎日曜 10:00-10:20 何かお悩みがありましたらご遠慮なくご相談ください
主日礼拝: 毎日曜 10:30-11:30 小さい子どもたちも、いつでも歓迎いたします。

しゅうほう 週報

教会標語

小さくされている人を
大切にする教会



ホームページ「久宝教会」
(ウェブサイト)

<http://www.koinonia.or.jp/kyuhokyokai>

【連絡先(牛田)】090-9161-4027

kyuho-church@koinonia.or.jp

この「確かさ」は当て外れということがありません。私たちが頂いている聖霊の働きによって、人を大切にする神の思いが、すでに私たちの心に注がれているからです。(ローマ5:5)

ペンテコステ (聖霊降臨日) 礼拝・花の日こどもの日礼拝

《礼拝はインターネットで中継配信いたします。ホームページにてどなたでもご視聴いただけますので、それぞれの場所で共に礼拝をして頂けます》

前奏 (黙祷) AVE VERUM CORPUS (©著作権消滅)

招きの詞 マルコによる福音書 10 章 14b-15節

賛美歌『アイオナ共同体賛美歌集』『世の初め、鳥のように』(©JASRAC)

お祈り (交唱) (2 頁をご参照ください) みんな

賛美歌 21-290 番「おどり出る姿で」(©JASRAC) と朗読

聖書 ヨエル書 2 章 23 節 - 3 章 2 節

メッセージ「みんな神様の子ども」 牛田 匡 牧師

賛美歌 21-346 番「来たれ聖霊よ」(©JASRAC)

聖餐 牛田 匡 牧師

共同のお祈りと、平和のあいさつ

賛美歌 21-524 番「われらみ名により」(©著作権消滅)

主の祈り

献げ物 (*)

派遣 21-91 番「神の恵みゆたかに受け」(1 節のみ) (©JASRAC)

祝福 牛田 匡 牧師

後奏 アーメン コーラス (21-40-6 番) (©教団讃美歌委員会)

報告 (4 頁をご参照ください)

《席にお座りになったままで礼拝にご参加ください》

* 受付に献金箱がございます。

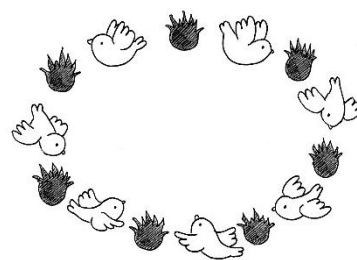
「献げ物 (献金)」はご用意のある方のみ、お献げください。

招きの詞 マルコによる福音書 10 章 14b－15 節（聖書協会共同訳）

14b「子どもたちを私のところに来させなさい。妨げてはならない。神の国はこのような者たちのものである。15 よく言っておく。子どもを受け入れるように神の国を受け入れる人でなければ、決してそこに入ることはできない。」

ペンテコステのリタニー（交唱）

ししきしゃ 司式者	かみ 神さま、ペンテコステの日のように、
みんな	せいれい かぜ おく きょうかい ちから 聖霊を風のように送り、教会を力づけてください。
ししきしゃ 司式者	かみ はじ きょうかい たんじょう ひ 神さま、初めの教会が誕生した日のように、
みんな	せいれい ほのお おく ちから 聖霊を炎のように送り、わたしたちを力づけてください。
ししきしゃ 司式者	せんそう つづ にく あ せかい 戦争を続け、憎しみ合うこの世界に、
みんな	せいれい たす ぬし おく 聖霊を助け主として送ってください。
ししきしゃ 司式者	いの わ どう祈ればよいのか分からないとき、
みんな	せいれい たす ぬし おく 聖霊を助け主として送ってください。
ししきしゃ 司式者	せいれい はたら なに うご か 聖霊が働くと、何かが動き、変わっていきます。
みんな	せいれい はたら かがや 聖霊が働くと、ちがっていることのすばらしさが輝きます。
いっしょ 一緒に	かみ せいれい かんしゃ 神さまのくださる聖霊を感謝します。



（出典：高寺幸子編『祈りのコンチェルト』2006 年, 46-47 頁）

『讚美歌 21』 290 番「おどり出る姿で」と朗読

290 番 1 節「おどり出る姿で」

私たちは自由になりたいと願っています。でも自由を得ることがどれだけ難しいかということを知っています。「私に従って来なさい」、主イエスはこのように弟子たちを招かれました。主イエスの招きの言葉は、弟子たちに自由と解放の喜びを与えたのです。主に従うことは決して束縛された窮屈な道を歩むことではありません。全てのものから解放された、本当の自由への道なのです。

290 番 2 節「網を繕う」

「疲れた者、重荷を負う者は、誰でも私のもとに来なさい。休ませてあげよう」。主イエスはこのように語られました。重荷は誰にも代わってもらえませんか。自分自身で背負っていかねばなりません。けれども主イエスはこう言うのです、「私のもとに来なさい。あなたを休ませてあげるから」。人生の重荷に耐えかねている人々は、こうして慰められたのです。

290 番 3 節「きよい安息日に」

「なぜ、あの方が十字架にかからなければならないのか?」「神はなぜ、彼を助けてくださらないのか」「神は一体何をされているのだ!」怒りと嘆きと絶望の叫びがゴルゴタの丘に響きわたっています。神の子が苦しみを受けなければならない、それは何のため? それは……私たちのためだったのです。

290 番 4 節「暗い雲が光をとざし」

「イエス・キリストは絶望の中を死んでいかれた」、そこでこの物語が終わったわけではありません。一度死んだ神の子は、三日目の朝に引き起こされたのです。「え? まさかそんなことがあるはずがない」、私たちはそう考えてしまいます。けれども、聖書は「主は本当に死から引き起こされた」と伝えています。この、不思議な出来事の中に、神は最も大切なメッセージを託されたのです。神の子は死の力を打ち破ったのです。そして神はこう言われるのです。「あなたたちはもう、死を恐れなくていい」。

290 番 5 節「重い墓石をもけやぶり」

復活されたイエス・キリストは、天の父のもとに移られました。弟子たちは取り残されてしまったと思い、不安になりました。心細くなっている弟子たちには、ただ主イエスの言葉だけが残されています。それは「約束のものを待ちなさい」という言葉です。約束された聖霊を待つことだけが、彼らの出来る唯一のことだったのです。

(参照:「ペンテコステの礼拝 聖霊の賜物を受けて」『礼拝と音楽』臨時増刊 2001 年, 70-72 頁)



聖書 ヨエル書^{しよ} 2章23節^{しやう せつ} - 3章2節^{しやう せつ} (聖書協会共同訳)

2:23 シオンの子らよ、楽しみ、喜べ

あなたがたの神、主によって。

主は義に従って^a秋の雨を与えてくださった。

(脚注 a: 別訳「前の雨」)

^bかつてのように、雨を降らせてくださった

(脚注 b: 原典では「最初に」)

秋の雨と^c春の雨を。

(脚注 c: 別訳「のちの雨」)

24 麦打ち場は麦で満ち

^{しば}搾り場は新しいぶどう酒と新しいオリーブ油で
^{あふ}溢れた。

25 私があなたがたに送った大軍

すなわち、群^{むら}がるばった

若いばった、食い荒らすばった

そしてかみ食らうばったが食い荒らした^{さいげつ}歳月を

あなたがたに^{つぐな}償おう。

26 あなたがたは豊かに食べて満ち足り

あなたがたの神、主の名をほめたたえる。

主はあなたがたのために奇^くしき業^{わざ}を行われた。

私の民はとこしえに^{はずかし}辱められることはない。

27 あなたがたは

私がイスラエルのただ中にいることを

知るようになる。

私は主、あなたがたの神であり

ほかに神はいない。

私の民はとこしえに辱められることはない。

3:1 ^{のち}その後

私は、すべての肉なる者にわが^{れい}霊を注ぐ。

あなたがたの息子や娘は預言し

老人は夢を見、若者は幻を見る。

2 その日、男女の奴隷にもわが霊を注ぐ。

《先週のメッセージより》2025年6月1日

「キリストに結ばれて生きる」より

牛田匡牧師

聖書 エフェソの信徒への手紙 4章 1-16節

現代日本語の「結ぶ」は、「つなぐ、ゆわえる、関係をつける」というような意味ですが、古代日本語では「むすひ」はあらゆるものを生み出す力という意味でした。一見、何もないと思っていた所に、いつの間にか「苔が生(む)す」ように、不思議な力として、天地万物を生成し、存在させる「むすび(産霊)」の力。そこから生きている子どものことを「むすこ」「むすめ」と言ったり、また今日でも「縁結び」という言葉などが残ったりしているそうです。

そんな「結ぶ」という言葉ですが、「キリストに結ばれた生き方」とはどのような生き方のことなのでしょう。それはどうも「離れていたもの同士がくっついて結ばれる」のとは違うような印象があります。むしろ「全てのものの父なる神は唯一であって、全てのものの内にあり、全てのものを貫き、全てのものの内におられます」(6節)とあるように、神の力は偉大であり、私たち人間を超えて「上にある」と同時に、「全てのものの内」にも存在している。だから「もともと一体であり、ずっと離れたことなどなかった」と表現する方が適当なのではないかと思えます。

来週はイースターから50日目を意味する「ペンテコステ」です。その10日前、十字架上的死からの引き起こしの後、イエス様は40日間にわたって弟子たちに姿を現され、その後天に上げられて、姿が見えなくなった(使徒言行録1章)とされています。「天」というのは、神様の仕事場、目に見えない神が働かれている所そのもののことだと理解することが出来ます。復活のイエス様は、その姿は見えなくなったけれども、神様はそもそもの初めから全てのものの上にあり、かつ全てのものの中にあり、今も私たちと共にいらっしゃるということ。私たちが神様の中に今、生かされているということ、そのものに他ならないのだと、改めて気づかされるかと思えます。「キリストに結ばれて生きる」とは、言葉を変えると、「命の神に今日も生かされている」ということ。与えられた命、生かされている命なのだから、隣人の命もまた大切にしようと思うこと。イエス様の言葉と振る舞いに従って、歩んでいこうとすること。そのことなのではないかと思えます。与えられ、生かされている命なのだから、今日もまた、キリストの内に、キリストと共に、キリストによって、私たちは用いられていきます。

毎週の「メッセージより」は、ウェブサイト等にも順次掲載されています。

ホームページ



Facebook



YouTube



◎ 先週の報告 2025 年 6 月 1 日

礼拝出席 大人 7 人 献金 大人 6,000 円 中継視聴者数 10 回 感謝
さんが初めて来会されました。

王寺墓地墓前礼拝・納骨式 出席者 9 人

昨日、和歌山県かつらぎ町にて「縁農」を行い、釜ヶ崎・いこい食堂の方々と一緒に、玉ねぎの収穫作業をいたしました。教会からは大人 6 人、子ども 5 人が参加しました。どうもありがとうございました。



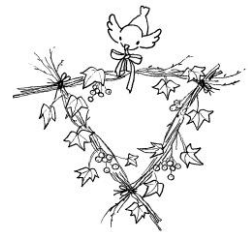
◎次週 2025 年 6 月 15 日（日）教会創立記念礼拝（三位一体主日礼拝）

招きの詞 エフェソの信徒への手紙 1 章 3b-4 節

聖書 マタイによる福音書 11 章 25 節-30 節

メッセージ 「重荷を負っても生きる」牛田匡牧師

賛美歌 「埋もれた宝」



◎お知らせ

- ・これまでの「週報」や「メッセージ（全文）」はホームページに掲載しています。また中継録画のメッセージ部分を YouTube でご覧いただくことも可能です。
- ・次週 6 月 12 日（木）9 時半～11 時半にかけて、釜ヶ崎・いこいの家にて「聖書を読む会」を行います。テキストは「聖書の話あれこれ」で、コピーを配布いたします。参加費は無料ですが、カンパがあります。どなたでもご参加ください。
- ・次週 6 月 15 日（日）14 時半～小阪教会にて河内地区女性会例会が開催されます。
- ・次週 6 月 15 日（日）14 時半～16 時半にかけて、東梅田教会にて沖縄慰霊の日（6/23）に思いを馳せ、沖縄とつらなる集いが開催されます（主催 大阪教区沖縄交流・連帯特別委員会）。講師は、岡本厚さんで「トランプ時代の東アジア、沖縄、『台湾有事』』という講演があります。どなたでもご参加ください。参加費無料（席上カンパあり）。

◎次週以降の行事予定

	メッセージ	行事
6/15	牛田匡牧師	教会創立記念礼拝 14時半～ 河内地区女性会（@小阪教会）
6/22	牛田匡牧師	おにぎり支援
6/29	牛田匡牧師	誕生者祝福式
7/6	牛田匡牧師	ユーカリスト・教会を考える会

第15回 慰霊の日思いを馳せ、沖縄とつらなる集い

トランプ時代の東アジア、沖縄、『台湾有事』

今年の6月23日は沖縄戦の組織的戦終結して80年を迎えます。この日沖縄では、奇襲な地上戦で亡くなった20万人を超える人々の命を覚えて島中が祈りに包まれます。しかし現在も、沖縄には軍事基地が集中的に置かれ、沖縄・琉球国における軍事基地化が進められています。キリストの平和を求め私たちは、暴力に依存する連年の平和は求めません。沖縄・琉球の人々の命を痛みにじり力による支配に反対し、平和への取り組みを強めていきたいと思います。

「暴力に依存するな、搾取をなくし平和な、力を生むことに心を奪われるな。」
(聖書 詩篇62篇11節)

講師 岡本厚さん
プロフィール: 1954年生まれ、早稲田大学卒、岩波書店入社。
1996年「世界」編集長(～2012年)。「沖縄」(集団自決)数回
(大江・岩波版)の岩波書店担当(2005～11年)。2013年
岩波書店代表取締役社長(～2023年)。2022年「台湾有事」を
起こさない・沖縄対話プロジェクト」共同代表
著書:『北朝鮮とどう向き合うか』(かもがわブックス)2003年
共著:『この国に生きる 東アジアの一市民として』
(いのちのことば社)2007年

講演後、米軍Xバンドレーダー基地反対・京都連帯会、
瀬川順朗さんより報告アビールをしていただきます。

日時 2025年6月15日(日)
午後2時30分～4時30分(開場2時)
場所 日本基督教団東梅田教会
大阪市大東区北野崎町9番6号

* 配信は台湾等で講師が来阪できない時にのみ会場と繋いで行います。
配信参加のご案内はございません。ご了承ください。
* 参加費無料 (沖縄教区互助会として会場にてカンパを募集します)
* お問い合わせ: 06-6692-6492、又は070-5345-7378(大阪府和歌山 森口)

主催 大阪教区 沖縄交流・連帯特別委員会
配信開始時はこちらから